

アウトカム指標及び目標（令和8年度）

①早期に中小企業者の経営悪化の予兆を検知し、必要に応じた支援を講じていくために、中小企業者との「対話と傾聴」や、金融機関や関係支援機関等との「連携の深化」を図ります。また、これらの取り組みを進めていくためにも、「地域の経営・金融一体型支援ネットワーク」の基盤整備や機能充実等を進めていきます。

②経営支援の効果については、経営支援強化事業において支援した中小企業者を対象として、指標と目標を設定し、効果検証を行います。

具体的には、やまぐち中小企業・小規模事業者経営支援強化事業において、経営診断、事業承継診断、経営改善計画策定支援、生産性向上計画策定支援の受診企業の手ごたえや満足度等を踏まえたヒアリング結果と、受診して3年後のCRD財務点数、ローカルベンチマーク等の財務指標の合計13項目を活用し把握を行います。これらをチェック項目とし、一定の効果があったと認められる受診企業が全体の6割を超えることを目標とします。

また、同強化事業の受診企業と同等の属性を持つ未受診企業を抽出し、受診企業と未受診企業のCRD財務点数の推移（改善幅）を比較することにより相対的な効果検証を行い、受診企業が未受診企業よりも改善幅が上回ることを目標とします。

したがって、令和8年度においては、令和4年度に受診した企業を対象に、受診後3期分の決算書類を徴求の上分析を行い、定量的な効果検証を行います。